

衛研第3 - 47号  
平成29年 2月22日

感染症発生動向調査事業  
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。  
なお、今週は下記の内容を含んでいます。

記

1. 今週の県内情報
2. インフルエンザ流行情報
3. 今週の注目される定点把握対象疾患の推移（グラフ）
4. 今週の全数把握対象疾患の報告数、累計
5. 今週の定点把握対象疾患の報告患者数、定点当たり報告数
6. 全国及び関東情報
7. Saitama Infectious Agents Surveillance Report  
Topics（腸管出血性大腸菌感染症）
8. 今週の流行状況

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当  
電話 0493 - 59 - 9325  
FAX 0493 - 59 - 9613  
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

## 感染症患者発生情報（週報）

## 埼玉県内情報 平成 29 年 第 7 週 (平成 29 年 2 月 13 日~平成 29 年 2 月 19 日)

## 今週の注目される疾患

図は次ページ以降に掲載

全数把握対象疾患では、一類、二類（結核を除く）及び三類感染症の届出はなかった。四類感染症は、レジオネラ症 1 人の届出があった。五類感染症は、アメーバ赤痢 1 人、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 人、急性脳炎 1 人、侵襲性肺炎球菌感染症 3 人、梅毒 2 人、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 人の届出があった。

定点把握対象疾患では、**インフルエンザ**(35.14 27.82 : 図 1)の定点当たり報告数は前週に引き続き減少したが、依然として多い状況にある。保健所別では、狭山(35.85)、幸手(32.50)、東松山(32.00)、熊谷(30.36)、加須(30.30)保健所管内で、定点当たり報告数が 30.00 を超えている。**A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**(2.15 2.79 : 図 2)の定点当たり報告数は、前週より増加した。保健所別では、本庄(0.50 3.25)、熊谷(4.00 6.56)保健所管内で大きく増加し、川越市(4.75)、春日部(4.67)保健所管内からの報告が多い。**流行性耳下腺炎**(0.42 0.49)の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。保健所別では、狭山(1.29)、朝霞(0.79)、さいたま市(0.78)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告対象疾患では、**急性出血性結膜炎** 3 人、**流行性角結膜炎** 18 人の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、**無菌性髄膜炎** 1 人、**マイコプラズマ肺炎** 1 人、**感染性胃腸炎(ロタウイルス)** 1 人、**インフルエンザ(入院)** 23 人(前週 37 人)の報告があった。**インフルエンザ(入院)**の報告の年齢階級別では、70 歳以上(14 人)が最も多い。

## &lt;全数把握対象疾患の患者情報&gt;

一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし(結核を除く)
三類感染症	報告なし
四類感染症	レジオネラ症 1 人(病型 肺炎型)
五類感染症	アメーバ赤痢 1 人(病型 腸管アメーバ症)
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 人(菌種 <i>Serratia</i> sp.)
	急性脳炎 1 人(病原体 不明)
	侵襲性肺炎球菌感染症 3 人
	梅毒 2 人(病型 早期顕症 期 1 人、 無症状病原体保有者 1 人)
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 人(菌種名 <i>Enterococcus faecium</i> )

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: [p5349952@pref.saitama.lg.jp](mailto:p5349952@pref.saitama.lg.jp) URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

## インフルエンザ流行情報

今週のインフルエンザの定点当たり報告数は、前週に引き続き減少(35.14 27.82)したが、依然報告数の多い状況にあり注意が必要である(図1)。

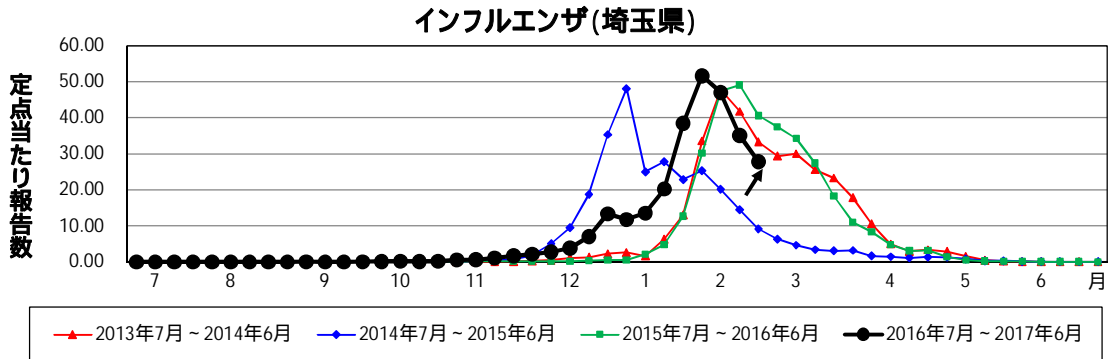


図1 インフルエンザ 定点当たり報告数の推移(2013年7月～)

第4週(1月23日～1月29日)以降の4週間に、13保健所管内の病原体定点で採取された検体からのインフルエンザウイルスの検出数は96件で、A香港型(AH3)が78件と81.3%を占め最も多く、次いで、Bビクトリア系統の検出数が10件(10.4%)と多い(表1)。

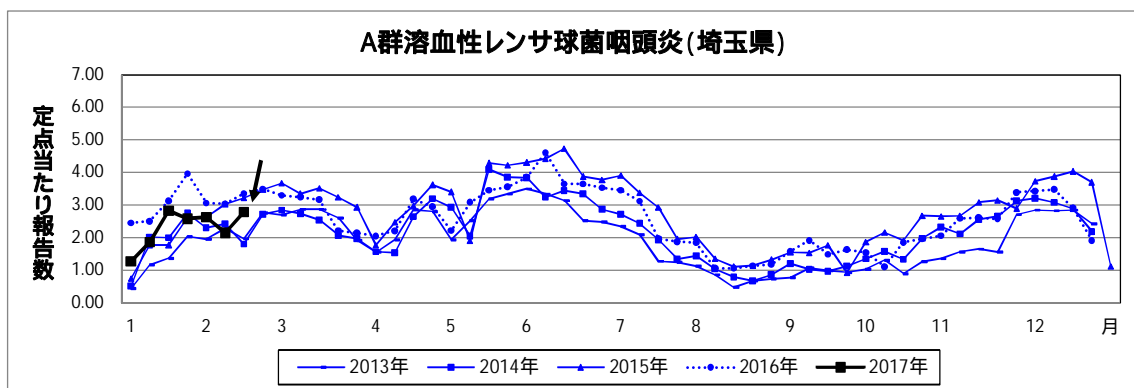
表1. 第4～7週に採取された検体からのインフルエンザウイルス検出数

型	4w	5w	6w	7w	4週の合計
AH1pdm09	-	1	-	-	1
AH3	32	27	18	1	78
Bビクトリア系統	5	4	1	-	10
B山形系統	1	3	2	1	7

(-:0)

## <今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第7週)

(2017年2月21日 15:00集計)

	今週 届出	累 計	2016年 累計		今週 届出	累 計	2016年 累計
<b>一類感染症</b>							
エボラ出血熱				ペスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
<b>二類感染症</b>							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*	-	-	1372	鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
<b>三類感染症</b>							
コレラ				腸チフス			2
細菌性赤痢			11	パラチフス			
腸管出血性大腸菌感染症		6	174				
<b>四類感染症</b>							
E型肝炎		2	15	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ(H5N1を除く)			
A型肝炎		1	6	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱			
黄熱				日本脳炎			
オウム病				ハンタウイルス肺症候群			
オムスク出血熱				Bウイルス病			
回帰熱				鼻疽			
キャサナル森林病				ブルセラ症			
Q熱				ベネズエラウマ脳炎			
狂犬病				ヘンドラウイルス感染症			
コクシジオイデス症				発しんチフス			
サル痘				ボツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱			1	レジオネラ症	1	6	89
つつが虫病			1	レプトスピラ症			
デング熱		3	13	ロッキー山紅斑熱			
<b>五類感染症</b>							
アメーバ赤痢	1	12	44	侵襲性肺炎球菌感染症	3	25	108
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)			7	水痘*		1	9
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	6	50	先天性風しん症候群			
急性脳炎	1	8	38	梅毒	2	18	190
クリプトスポリジウム症				播種性クリプトコックス症			8
クロイツフェルト・ヤコブ病			5	破傷風			4
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		4	21	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
後天性免疫不全症候群		2	40	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	4	9
ジアルジア症			1	風しん		1	4
侵襲性インフルエンザ菌感染症		1	9	麻しん			8
侵襲性髄膜炎菌感染症			2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1	7
指定感染症	該当疾患は無し						

水痘\*：患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他	累計
					累計は診断日で集計 * 2016年累計は暫定値です。 * 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生動向調査 週情報		報告患者数										保健所別		平成29年2月13日～平成29年2月19日										
保	健	所	週情報										保健所別		平成29年2月13日～平成29年2月19日									
			インフルエンザ # 1	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 # 2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎 # 3	クラミジア肺炎	感(口)染性胃腸炎(ウイルス)	インフルエンザ(入院)	
全	県		7,011	21	43	447	878	73	9	9	52	-	2	79	3	18	-	1	1	1	-	1	23	
川	口		27.82	0.13	0.27	2.79	5.49	0.46	0.06	0.06	0.33	-	0.01	0.49	0.08	0.45	-	0.10	0.10	-	0.10	2.30		
朝	霞		23.67	0.47	0.60	3.13	11.60	0.40	-	0.07	0.40	-	-	0.13	-	0.80	-	-	-	-	-	-		
朝	霞		534	-	7	45	63	8	-	2	6	-	-	11	-	3	-	-	-	-	-	-		
鴻	巣		25.43	-	0.50	3.21	4.50	0.57	-	0.14	0.43	-	-	0.79	-	1.00	-	-	-	-	-	-		
鴻	巣		541	-	1	23	46	2	-	2	2	-	-	2	1	2	-	-	-	-	-	-		
東	松		28.47	-	0.08	1.92	3.83	0.17	-	0.17	0.33	-	-	0.17	0.33	0.67	-	-	-	-	-	-		
東	松		256	1	-	8	23	-	2	-	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-		
秩	父		32.00	0.20	-	1.60	4.60	-	0.40	-	0.20	-	-	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-		
秩	父		74	-	-	1	2	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2		
本	庄		14.80	-	-	0.33	0.67	0.33	-	0.33	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	2.00		
本	庄		164	1	5	13	16	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
熊	谷		23.43	0.25	1.25	3.25	4.00	0.50	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-		
熊	谷		425	-	-	59	73	6	-	-	3	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1		
加	須		30.36	-	-	6.56	8.11	0.67	-	0.33	-	-	-	-	0.50	0.50	-	-	-	-	-	1.00		
加	須		303	-	-	5	8	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
春	日		30.30	-	-	0.83	1.33	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
春	日		244	-	3	28	17	1	-	3	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-		
幸	手		24.40	-	0.50	4.67	2.83	0.17	-	0.50	-	-	-	0.33	-	1.00	-	-	-	-	-	-		
幸	手		455	5	5	20	30	4	-	-	1	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	4		
坂	戸		32.50	0.56	0.56	2.22	3.33	0.44	-	0.11	-	-	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	4.00		
坂	戸		273	3	-	3	52	1	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4		
草	加		27.30	0.50	-	0.50	8.67	0.17	-	0.17	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	4.00		
草	加		506	1	2	27	41	5	-	2	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-		
狭	山		29.76	0.09	0.18	2.45	3.73	0.45	-	0.18	0.27	-	-	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-		
狭	山		932	2	3	26	62	4	-	6	-	-	-	22	-	1	-	-	-	-	-	1		
川	越		35.85	0.12	0.18	1.53	3.65	0.24	-	0.35	-	-	-	1.29	-	0.20	-	-	-	-	-	1.00		
川	越		344	1	1	38	53	9	-	1	4	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-		
越	谷		26.46	0.13	0.13	4.75	6.63	1.13	-	0.13	0.50	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-		
越	谷		354	-	2	29	14	7	1	3	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	4		
さい	たま		27.23	-	0.25	3.63	1.75	0.88	0.13	0.38	-	-	0.13	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-		
さい	たま		1,038	-	5	75	204	15	6	3	10	-	1	21	1	5	-	-	-	-	-	8		
			25.32	-	0.19	2.78	7.56	0.56	0.22	0.11	0.37	-	0.04	0.78	0.13	0.63	-	1.00	-	-	-	-		
			( - : 0.00 )																					

# 1 鳥インフルエンザを除く

# 2 真菌性を含む

# 3 オウム病を除く

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第7週 平成29年2月13日～平成29年2月19日)

	報告患者数												年齢別											
	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～			
インフルエンザ #1	7,011	21	76	262	258	320	443	441	449	396	461	411	1,210	356	288	421	427	289	223	156	103			
合計	7,011	21	76	262	258	320	443	441	449	396	461	411	1,210	356	288	421	427	289	223	156	103			
RSウイルス感染症	21	2	10	6	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
咽頭結膜熱	43	-	1	8	6	6	9	4	4	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	447	-	2	11	16	29	57	57	46	61	44	33	56	9	26	-	-	-	-	-	-			
感染性胃腸炎	878	7	33	102	75	70	107	66	55	51	53	37	97	28	97	-	-	-	-	-	-			
水痘	73	2	4	5	2	4	9	12	9	5	8	5	7	-	1	-	-	-	-	-	-			
手足口病	9	-	-	5	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
伝染性紅斑	9	-	2	-	1	1	-	3	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-			
突発性発しん	52	1	14	30	4	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
ヘルパンギーナ	2	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
流行性耳下腺炎	79	-	-	1	2	6	8	13	17	14	5	5	7	1	-	-	-	-	-	-	-			
合計	79	-	-	1	2	6	8	13	17	14	5	5	7	1	-	-	-	-	-	-	-			
急性出血性結膜炎	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-			
流行性角結膜炎	18	-	1	1	-	-	1	-	1	-	-	-	1	1	1	7	4	1	-	-	-			
合計	21	-	1	1	-	-	1	-	1	-	-	-	1	1	1	7	4	1	-	-	-			
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
マイコプラズマ肺炎	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
(入院)インフルエンザ	23	1	3	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	14	-			

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報 第5週

( 1月30日～2月5日 )

平成29年2月22日

インフルエンザの定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は福岡県(55.03)、宮崎県(54.02)、愛知県(51.44)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は1,505例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(56例)、1～9歳(255例)、10代(71例)、20代(14例)、30代(25例)、40代(25例)、50代(45例)、60代(137例)、70代(255例)、80歳以上(622例)であった。

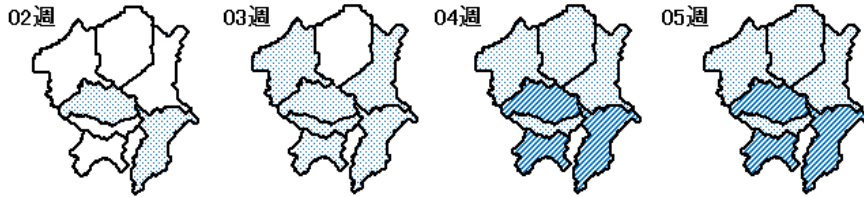
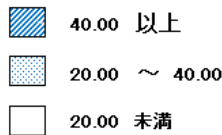
RSウイルス感染症の報告数は1,047例と2週連続で減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約73%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(0.89)、青森県(0.88)、新潟県(0.79)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第2週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は鳥取県(6.21)、北海道(4.72)、山形県(4.70)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は大分県(20.83)、熊本県(14.16)、石川県(13.86)である。水痘の定点当たり報告数は第2週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は鳥取県(0.79)、鹿児島県(0.71)、大分県(0.58)である。手足口病の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県(0.89)、佐賀県(0.83)、熊本県(0.78)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県(0.67)、愛媛県(0.35)、島根県(0.26)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は山口県(2.42)、愛媛県(2.22)、新潟県(2.16)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は岐阜県(2.40)、石川県(1.20)、沖縄県(1.14)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。22都道府県から38例報告があり、年齢別では0歳(6例)、1～4歳(25例)、5～9歳(7例)であった。

## <関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、埼玉県(47.06)、千葉県(45.27)、神奈川県(41.37)からの報告が多い。

### インフルエンザ



		平成29年 05週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	189,231	59,260	3,691	1,865	2,968	11,954	9,734	14,694	14,354
	定点当たり	38.14	38.96	30.76	24.54	31.24	47.06	45.27	35.49	41.37
RSウイルス感染症	報告数	1,047	124	12	3	9	20	15	36	29
	定点当たり	0.33	0.13	0.16	0.06	0.16	0.12	0.11	0.14	0.13
咽頭結膜熱	報告数	1,148	204	21	10	19	49	21	51	33
	定点当たり	0.36	0.21	0.28	0.21	0.33	0.30	0.16	0.20	0.15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	7,335	2,320	240	75	179	423	465	519	419
	定点当たり	2.32	2.43	3.20	1.56	3.09	2.63	3.44	1.99	1.93
感染性胃腸炎	報告数	18,366	4,709	411	124	315	784	637	1,453	985
	定点当たり	5.80	4.93	5.48	2.58	5.43	4.87	4.72	5.57	4.54
水痘	報告数	901	290	12	12	14	67	43	66	76
	定点当たり	0.28	0.30	0.16	0.25	0.24	0.42	0.32	0.25	0.35
手足口病	報告数	508	78	8	-	25	10	19	10	6
	定点当たり	0.16	0.08	0.11	-	0.43	0.06	0.14	0.04	0.03
伝染性紅斑	報告数	265	84	3	2	8	12	13	27	19
	定点当たり	0.08	0.09	0.04	0.04	0.14	0.07	0.10	0.10	0.09
突発性発しん	報告数	1,158	346	18	22	19	48	46	114	79
	定点当たり	0.37	0.36	0.24	0.46	0.33	0.30	0.34	0.44	0.36
百日咳	報告数	29	10	2	-	-	2	3	3	-
	定点当たり	0.01	0.01	0.03	-	-	0.01	0.02	0.01	-
ヘルパンギーナ	報告数	67	11	2	-	1	2	1	3	2
	定点当たり	0.02	0.01	0.03	-	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01
流行性耳下腺炎	報告数	2,074	407	25	10	30	87	25	82	148
	定点当たり	0.66	0.43	0.33	0.21	0.52	0.54	0.19	0.31	0.68
急性出血性結膜炎	報告数	2	2	-	-	-	-	2	-	-
	定点当たり	0.00	0.01	-	-	-	-	0.06	-	-
流行性角結膜炎	報告数	327	110	14	6	1	16	18	9	46
	定点当たり	0.47	0.53	0.82	0.50	0.07	0.39	0.51	0.23	0.96
細菌性髄膜炎 #2	報告数	16	5	-	-	-	-	-	4	1
	定点当たり	0.03	0.06	-	-	-	-	-	0.16	0.10
無菌性髄膜炎	報告数	11	5	-	-	-	4	1	-	-
	定点当たり	0.02	0.06	-	-	-	0.40	0.11	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	232	35	3	5	7	5	3	9	3
	定点当たり	0.49	0.43	0.23	0.71	0.88	0.50	0.33	0.36	0.30
クラミジア肺炎 #3	報告数	9	5	-	-	-	-	-	5	-
	定点当たり	0.02	0.06	-	-	-	-	-	0.20	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	38	12	-	-	1	1	1	4	5
	定点当たり	0.08	0.15	-	-	0.13	0.10	0.11	0.16	0.50

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

## 埼玉県の腸管出血性大腸菌検出状況(2016)

埼玉県で 2016 年に検出され、衛生研究所で確認した腸管出血性大腸菌は 131 株でした。検出された 131 株の血清型・毒素型別を下表に示しました。血清型では 10 血清型が検出され、最も多く検出された血清型は例年通り O157:H7 で 87 株 (66.4%)、次いで O26:H11 が 23 株 (17.6%)、O157:H- が 10 株 (7.6%) であり、その他の血清型の検出数はそれぞれ 3 株以下にとどまりました。その中には、当初 O 血清型不明 (VT1) で届出がなされ、その後の検査により O76 と同定された例がありました。毒素型では、VT2 のヴァリアントである VT2e が検出されました。131 株のうち 41 株 (31.3%) は患者発生に伴う家族等の接触者検便や従事者等に対する定期検便で非発症者から検出されたものでした。血清型別の非発症者からの検出数は O157:H7 が 20 株と最も多く、次いで O26:H11 の 11 株、O157:H- の 5 株の順で、O26:H11 及び O157:H- では非発症者からの検出が約半数を占めました。

表 検出された腸管出血性大腸菌の血清型・毒素型別検出数 (2016)

血清型	毒素型			計
	VT1	VT2	VT1&2	
O157:H7		36	51	87
O157:H-		2	8	10
O26:H11	23			23
O111:H-	2		1	3
O8:H9		1*		1
O76:H19	1			1
O121:H19		1	1	2
O128:H2			1	1
OUT:H45		1		1
OUT:H-	2			2
	28	41	62	131

\*:VT2e

検出株の遺伝子型別では、従来実施してきた PFGE 法に加え、MLVA 法による型別を実施しました。O157:H7 は 87 株が PFGE 法では 42 型、MLVA 法では 48 型に分けられ、O26:H11 では 23 株が PFGE 法では 11 型、MLVA 法では 13 型に分けられました。地域の異なる散発例において、どちらの型別でも同じグループに型別され、共通の感染源が疑われた例が複数ありました。

2016 年は 2015 年の検出数 (137 株) と同程度の検出数でしたが、今後もその動向を注視する必要があります。



総合トップ > 健康・福祉 > 感染症 > 感染症情報センター > 感染症の流行情報 > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2017年 > 感染症の流行状況 2017年 第7週

感染症発生動向調査 2017年

- [感染症の流行状況 2017年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第6週](#)

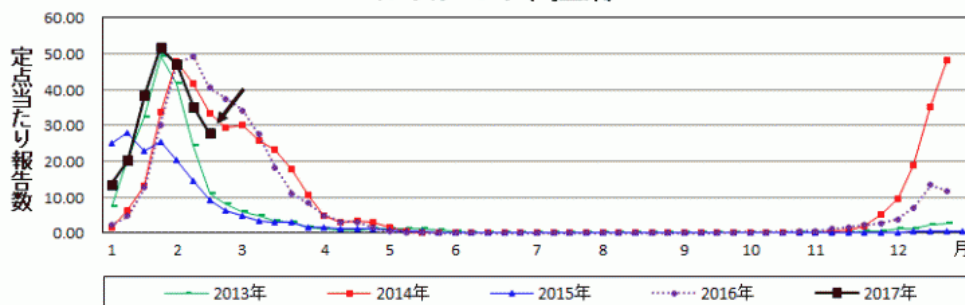
感染症の流行状況 2017年 第7週

2017年第7週（平成29年2月13日～2月19日）の要点 平成29年2月22日

インフルエンザの定点当たり報告数は、前週に引き続き減少しましたが、依然、多い状況です。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹に関する情報の掲載ページへ](#)
- [風しんに関する情報の掲載ページへ](#)

インフルエンザ(埼玉県)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	↓	★★★	<a href="#">伝染性紅斑(りんご病)</a>	→	★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	→	★	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱(プール熱)</a>	→	★	<a href="#">百日咳</a>	→	★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	↑	★★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	→	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	↑	★★	<a href="#">流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)</a>	→	★★
<a href="#">水痘(みずぼうそう)</a>	→	★★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	→	★
<a href="#">手足口病</a>	→	★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	→	★

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) \*3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」(アドレス <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン